

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おおすみ児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 23日		～ 2025年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2025年 1月 23日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	20名定員による、より母集団に近い支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的な提示 製作等の手順を簡単にする トークン表の活用 館内放送による活動終了時間のお知らせ 	<ul style="list-style-type: none"> 放送の回数を増やす(活動開始時にも行う) トークン表でシール貼りのほかに、シールがたまったらご褒美を設けてやる気につなげている
2	部屋が区切られており、それぞれに役割がついている(目的に合った場所での活動)	<ul style="list-style-type: none"> おやつや宿題、支援活動の部屋を分けている 目的以外の活動をしているときは声掛けをして移動している 	<ul style="list-style-type: none"> 環境設定の徹底(活動に必要なもの以外は部屋に置かない)
3	研修の機会が多い	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議で毎月1回は必ず研修を受ける機会の提供 必要に応じて外部研修、資格取得のための費用負担 	外部研修も含めた研修計画の作成を行う

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員不足	求人を出していない	利用者数の増加
2	地域の子どもの交流	感染症の流行	時期の検討
3	環境整備	支援に必要な物品の不足	<ul style="list-style-type: none"> まずは利用者への提示方法を変える 視覚的支援を行っているが見直しが必要 職員が絵カードを持ち歩く